

## ICU での皮膚軟部組織感染症の調査について

集中治療室には、敗血症という重症な感染症の患者さんが多くいらっしゃいます。敗血症の原因のうち、皮膚や皮下組織に起こる感染症を皮膚軟部組織感染症といいます。皮膚軟部組織感染症の中で多いものは、蜂窩織炎と壊死性筋膜炎の2つです。蜂窩織炎の治療は抗生物質ですが、壊死性筋膜炎は抗生物質に加えて、手術を行う必要があります。しかし、この二つは病気が起きたばかりの時期には、見分けが付きにくいのが問題です。壊死性筋膜炎の診断が難しく、手術のタイミングが遅れてしまった例も報告されています。早期に診断し、早期に適切な治療を開始するために、まずはこの2つの病気について、詳しく知ることが大切になります。そのため、2010年1月から2017年3月に当センターの集中治療室に入院された皮膚軟部組織感染症の患者さんの経過や検査結果について、調査を行っています。この調査について詳しくお知りになりたい方はいつでもお申し出ください。また、調査の対象となる方ご自身に関する情報を、調査に利用されることを拒否される場合も遠慮なくお申し出ください。一切の情報を調査に使用しないように致します。

調査結果は学会や各術雑誌で公表しますが、個人が特定されるような氏名、生年月日といった情報に関しては、一切公表致しません。

対象期間：2010年1月から2017年3月

対象患者さん：当センターの集中治療室に入院された皮膚軟部組織感染症の方  
個人情報：本研究では個人が特定できる情報を扱うことはありません。

利用させて頂く情報：当院入院時から退院までの診療情報

研究参加の取りやめ：本研究でのデータ利用を希望されない場合は、下記までご連絡ください。

お問い合わせ窓口

日本赤十字社和歌山医療センター倫理委員会事務局（総務課）

TEL：073-422-4171（内線 5310・5311）

FAX：073-426-1168

日本赤十字社和歌山医療センター  
研究責任者 集中治療部 医師 小谷 祐樹